

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2011-2012

3 vol.9



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー 第2660地区

2011~12年度ガバナー 岡部泰鑑

3 vol.9

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

識字率向上月間／世界ローターアクト週間	1
「世界ローターアクト週間」に因んで	2
2012年 国際協議会に参加して	3
2011～2012年度 IM第3組報告	4
第2回 地区財団FVPセミナー報告	5
東日本大震災復興支援ボランティア活動報告	7
WCS事業が育てる青少年の活動	8
台湾米山奨学生学友会	9
大阪アーバンロータリークラブ加盟認証状伝達式 開催	10
災害支援プロジェクト報告（第9回）	11
米山奨学委員会	13
ロータリー財団	15
2012年1月度 会員数・出席報告	17
文庫通信	18
敬弔／お知らせ	



昨年3月11日に起こりました東日本大震災から早1年が経過します。私は事の重大さに鑑み、地区内ロータリアンの皆様方に国難に立ち向かう為の方策に全身を傾けて訴えて参りました。そして地区内ロータリアンの皆様方の熱い支援のもと、数々のプロジェクトが立ち上がりました。支援の輪は未だ出発したところでありまして、これから先まだまだ高島年度・福家年度へと引き継がれなくてはなりません。今後とも熱いご支援をお願い申し上げます。

さて、3月は識字率向上月間です。日本では読み書き算術は当たり前の世界ですが、世界中に眼を広げてみますとまだまだ読み書きの出来ない人々の多さに驚かされます。従って国際ロータリーは早く（1986年以来）から強調事項として強く訴えております。

ところで、ロータリー探究では次のように述べています。ユネスコの推計によると世界で15歳以上の8億人の人々が基本的な読み書き能力がなく、とくに女性・女子は世界の非識字人口の64%以上を占めており、1990年以降ほぼ変化していません。読み書き・計算能力が社会に与える恩恵は、識字社会では内戦も少なく経済発展もより速やかであるのが一般的となっています。また、読み書き能力のある人々の方が地域社会の健康問題について認識があるため、一般的により健康であると言えます。そして女性にとって読み書きと簡単な計算を行う能力は、教育的、社会的、経済的機会への扉を開く可能性は大きいと言えます。辞書の寄贈、学校建設、個人指導者としての奉仕のいずれの形をとるにしろ、ロータリアンおよびロータリークラブは識字率を高める活動を積極的に行っています。

RI 理事会は、世界中で識字能力の大切さを強調するとともに独自の識字率向上プロジェクトを開発し、ロータリアンが世界で行う非識字根絶の取り組みに

ついて広報する絶好の機会をロータリークラブと地区に与えるために3月を識字率向上月間と決めました。

最後に2006年6月12日、国際ロータリー年次大会基調演説よりシスター・エセルの言葉を紹介します。“識字率向上は、貧困の悪循環を断ち切るカギ”

世界ローターアクト週間にあたって

1992年3月、RI 理事会はローターアクトの創立25周年を記念して3月13日を含む1週間を「世界ローターアクト週間」に指定しました。1968年3月13日は世界で初めてノースシャーロット・ローターアクトクラブが出来た日ですが、この1週間はローターアクトについての認識を深め、ローターアクトの実績を示し、ローターアクトとロータリアンとの絆を深める良い機会です。今さら言うまでもありませんが、ローターアクトとは大学または地域社会を基盤として世界中に広くネットワークを有する奉仕クラブのことで、ロータリークラブによって提唱されています。18歳より30歳までの若い人々がその中で自分のパワーやプロの腕前を発揮する機会が与えられ、今日約160ヶ国で約8,100クラブ、18万6,000人以上の会員を擁するまでに拡大しました。当地区には19クラブ260名余りの会員が在籍して地区献血活動や海外研修、ローターアクト研修会等の活動を行っていますが、ここ数年、クラブ数、会員数共に減少傾向にありますので、RIの規定審議会の改正に伴い、四大奉仕から五大奉仕へと新世代奉仕が追加されたことにも鑑み、これからのロータリー活動には新世代奉仕を抜きには語ることは出来ません。もう一度RACを提唱されているクラブでは未来へ向けての発展性、またRACを提唱されていないクラブではその実現性を検討してみてもは如何でしょうか。

「世界ローターアクト週間」 に因んで

ローターアクト委員会

委員長 梅澤喜八郎 (東大阪西RC)



世界ではじめてローターアクトクラブが設立された3月13日を記念して、その前後一週間が世界ローターアクト週間とされています。

これを機会に、当地区のローターアクトの活動の一端を報告させていただきます。当地区には19のローターアクトクラブがあり、現在の会員総数は約260名で、期首から約60名の増となっています。これらの19のクラブを三つのゾーン（北、中、南）に分けて運営しています。

地区役員は地区代表、幹事、会計、副幹事3名、ゾーン代理3名の9名で構成されており、毎月2回役員会を開いて地区行事の取組みをはじめとする様々な課題を協議しています。

また、各ゾーン毎に月1回そのゾーンに属するクラブの会長が参加してゾーン会議（会長会）が開催されます。この会議には、地区役員から担当副幹事と担当ゾーン代理が出席します。この会議では、各クラブの会員の増減、例会の報告、例会外の諸行事（奉仕活動など）が発表され、また次月の予定の案内が行われます。

年に2回、このゾーン会議にそれぞれの提唱クラブの担当ロータリアンにも出席していただいて意見交換を行い、相互理解を深める機会としています。

主な地区行事として、年2回（例年7月と2月）日赤に協力して献血活動を行っています。また、同じ日に、地区役員と各クラブの役員が集まって地区連絡協議会が開かれます。

9月に「全国統一アクトの日」、11月には「海外研修」があります。今年度はグアムを訪問しました。グアムは第2750地区（東京南）に属しているのです

が日本のローターアクターとの交流の機会が少なく、今回の訪問で相互の理解と友情を深めるのに大いに役立ったと考えています。また戦没者の慰霊のために活躍している現地の日本人ロータリアンの方に出逢い、戦中、戦後のグアムと日本との関わりについて多くのことを学ぶ機会となりました。

3月には「世界RAC DAY」、4月には「新旧理事役員会」、5月には「年次大会」、6月には「リーダーシップフォーラム」がそれぞれ開催されます。

これらの地区行事は各RC事務局に案内を流して参加を要請しています。

是非、理事会でご検討くださいますようお願い申し上げます。

最後に、東北支援について触れさせていただきます。当地区ローターアクトも「災害支援プロジェクトチーム」を立ち上げ、去る10月29日、30日に、地区代表の古川君と地区役員の末松君が茨木RCの久保様の紹介で気仙沼を訪問し、また1月21日には第2520地区（岩手、宮城）のローターアクト会長・幹事会に上記両君と小生も参加し、現地ローターアクターの諸君や列席されていたロータリアンの方々と、今後の支援のあり方について話し合ってきました。

いろいろな形でみなさまのご協力をお願いすることになると思いますが、どうかよろしくようお願い申し上げます。

2012年 国際協議会に参加して

国際ロータリー 第2660地区
ガバナー・エレクト 高島 凱夫 (大阪中之島RC)

RIテーマ「Peace Through Service - 奉仕を通じて平和を」
海あり、山あり、砂漠ありの自然溢れる国境の町San Diego。San Diego Bayに面してそそり立つ2棟建てのManchester Grand Hyatt San Diegoにおいて2012年国際協議会が開催されました。

1月14日(土)、村橋次年度地区代表幹事、杉村副代表幹事たちの励ましを受けながら、大阪伊丹空港から東京・成田国際空港経由、一路Los Angelesへ向かい、同地で一泊、15日(日)にバスで、San Diegoに到着いたしました。ホテルの玄関には、田中 作次RI会長エレクト、近藤雅臣RI理事、松宮 剛RI理事エレクトほか日本からのRI関係者が出迎えて下さいました。今年の現地は、最高気温が15℃と思いのほか寒い日に終始しました。

16日(月)からいよいよ国際協議会の開幕です。カルヤン・バナジーRI会長の開会宣言に引き続き、各国・地域の国旗の入场。日の丸は「J」のところにはなく、星条旗・インド国旗と共に最後に登場しました。続いて国歌斉唱では、アメリカ国歌、インド国歌に続き「君が代」が会場に流れ、ふるえる感動を覚えました。このような機会はなかなか経験をすることが出来ないものです(福家 宏ガバナー・ノミニーの時も流れるでしょう)。

開会式の興奮もさめやらぬ内に、アイデア交換・ワークショップ・主題別テーブルミーティング・パネル討論・本会議が20日(金)までくり返し、テーマを変え行われました。アイデア交換・主題別テーブルミーティングでは、日本からのDGEが2班に別れ、お互いの意見を出し合う方法で行われましたが、あまり意見を言わないと、研修リーダーから意見を求められます。この意見交換中あるいは休憩中などに、日本からの34名のDGEの間に友好関係が徐々に盛り上がっていくのが判りました。

ほぼ毎日、朝9時から夕方5時半～6時半までの本会議、前述の研修があり、その後7時頃からは、国際親善晩

餐舞踏会(もちろん、日本人はほとんど踊りません)、国際祭りの夕べ(日本の今年の出し物は、全員で花笠音頭)、「出でて奉仕せよ」晩餐会と遅くまで国際交流の場が設けられていました。

協議会2日目、3日目の本会議では、2012～2013年度に予定されているGSEの相手地区のドイツ第1890地区DGE Henning Kramer氏(Rotary Club Kiel - Dustembrook)と隣同士で座るように設定されていました。私の反対隣はオーストリアのDGEでドイツ語圏に挟まれました。Kramer氏とは、3日目の昼食を共にして、次年度既に決定している、第2660地区チームの2013年5月21日～6月21日の渡独、第1890地区チームの3月30日～4月30日の来日について、話をいたしました。当地区がドイツ滞在中の2013年6月8日には第1890地区の地区大会が開かれる予定だということです。協議会中にGSE相手地区のDGEと効果的な話が出来ましたことは、地区GSE委員会の皆様の事前のメールのやり取りなどさまざまなお骨折りの賜と感謝申し上げます。

21日、松宮RI理事エレクト、研修リーダーの方々の見送りを受けLos Angeles、成田経由で23日に無事帰国いたしました。



2011～2012年度 IM第3組報告

I.M. 実行委員会
委員長 山口愛彦

テーマ：健康と防災・全ての奉仕活動は健康から!!

日時：2012年1月28日 午前9:40～

場所：四條畷市市民総合センター（市民ホール）

参加登録：379名

出席者：185名

国際ロータリー第2660地区第3組のインターシティミーティングを開催するに当たり、開催市の四條畷市長 田中夏木様、地区G岡部泰鑑様、G補佐三村雄太郎様をはじめとして多数の役員の皆様方、また第3組各RCの会長、幹事をはじめ多くのロータリアンの皆様をお迎えして開催できました。心より有難く感謝申し上げます。

本年度のI.M.のテーマは「健康」「防災」の2点を議題とさせて頂きました。各RCの活動も全ての日常生活の基本は健康である事といった観点から、健康を今一度見直してみようとの考えです。しかし病気病魔の種類も多様になり、今回は健康のバロメーターは歯とも言われていますので歯科医の先生に講演を頂きました。また2011年の年は、皆様ご承知の様に災害の多発を見ました。幸い大阪に於いては事なきを得ましたが、いつ災害に見舞われても不思議でないと思われまますので市の防災アドバイザーに防災の講演をお願いしました。又、四條畷消防署チームよりAEDの実技指導を代表会員10名参加のもと行いました。

閉会式に於いては、新入会員にご登壇頂き岡部Gと固い握手を交わして頂きました。我々I.M.第3組は北河内7市のグループであり、長年にわたり近隣社会を文化歴史の面から共有して参りました。第3組11クラ

ブの皆様とは共に志を同じくしロータリー活動を継続いたしてしています。お会いする機会も少なく年に一度のI.M.の機会ですので、最後に粗食ではありますが軽食を囲みお互いの懇親を深めて頂けたかと思っております。この度のI.M.開催に当たり当クラブと致しましては、全員参加の協力体制をとりましたが、何分ミニのクラブで不行き届きの事、多々あったろうと思いますが、今後このミーティングが少しでも各クラブの活動に役立てば幸せと思います。皆様のご協力に感謝申し上げながら、IM3組のホストの出来得た事に厚くお礼申し上げます。



第2回 地区財団FVPセミナー報告

FVP: Future Vision Plan「未来の夢計画」

ロータリー財団委員会・財団FVP委員会
委員長 福家 宏 (八尾中央 RC)

日時：2012年1月14日(土) 14時～16時

場所：大阪YMCA会館2Fホール

司会：四宮孝郎財団FVP委員

当地区2回目の地区財団FVPセミナーは、第1回の出席者数160名をはるかに上回り、280名近いロータリアンにお集まりを頂きました。さすがに会場はほぼ満席状態で、クラブの会長エレクト始め奉仕プロジェクト関連委員長の皆様がいよいよ本格的にFVPに取り組もうとされる意気込みを感じさせられました。以下、発言内容をプログラム順に要約し、セミナー報告と致します。

■ 略語

TRF：ロータリー財団

FVP：未来の夢計画

VTT：職業研修チーム

MG：マッチング・グラント

■ キーワード：6つの重点分野

- ① 平和と紛争予防／紛争解決
- ② 疾病予防と治療
- ③ 水と衛生設備
- ④ 母子の健康
- ⑤ 基本的教育と識字率向上
- ⑥ 経済と地域社会の発展

■ このセミナーの資料は当地区ホームページのコンテンツFVPの項でご覧になれます

岡部泰鑑G：開会挨拶

此の度の財団FVPセミナーには残念ながら高島GEのご出席はかありませんでした。と申しますのは、今朝サンディエゴの国際協議会に出席のため大阪を出発されたからで、皆様にはご了解下さい。さて、FVPについてはその目標を十分に見定めて、次年度より円滑に奉仕プロジェクトの計画や実行が進むようにしなければなりません。今後は活動内容や資金調達の方法も大きく変化しますが、このセミナーを通して皆様には新しい情報を十分に把握して頂き、このセミナーが有意義なものとなるよう念願しております。

横山守雄ロータリー財団部門顧問PG：FVPセミナーの趣旨説明

このセミナーは次年度のクラブ・リーダーの皆様のためのセミナーです。FVPは「未来の夢計画」と呼ばれますが、実現困難なので「夢」に終わると言うものでもなければ、薔薇色のように素晴らしいと言うものでもありません。未来志向のプランだとお考え下さい。財団のプランは多

様化してきましたが、財団は第2世紀を迎えるに当たって、仕組みの見直しを行い、より効果的な仕組みを実施しようとしているものです。FVPによる補助金制度は、基本的なコンセプトが大きく変わるわけでは無いのでそれほど難しく考える必要はありません。TRFの権限は大きく地区に移譲されますが、これによってTRFは経費の削減を見込むことが出来ます。その分これからは地区Gの方針が財団プログラムに生かされることになります。次年度クラブ会長の皆様は、是非とも財団プログラムを大いに活用され、クラブの活性に役立てて頂きたいと思えます。

福家 宏財団FVP委員長：FVP実施への流れと補助金制度概説、ハンドブックの説明

第1回と幾分重なりますが、今回もロータリー財団の歴史を簡単に振り返りました。1917年アーチ・クランフの「世界のためによいことをしよう」の呼びかけを発端に1928年にTRFが設立され、1947年を境にTRFが発展の一途をたどったこと、特にMGの申請件数激増がTRFの運営を危うくし始めたことをお話しました。そして2010年7月から3年間のパイロット期間のち2013年7月から全世界でFVPによる補助金制度が実施される過程をご紹介します。FVPへの理解を進める第一歩として先ず「クイックガイド」の学習を奨励し、次いで第2770地区作成の「未来の夢計画ハンドブック」2011年11月版について必読のページをご紹介します。今回は重要な部分をピックアップして、実際にそのページを開いて頂きながら、解説を致しました。

溝畑正信財団FVP委員、次年度地区財団委員長：FVP用語解説とクラブとしての今後の準備

「未来の夢計画ハンドブック」P104-P106用語集を参加者に開いて頂き、そこに記載されている用語について、分かり易く解説されました。そして新地区補助金の「計画年度」「実施年度」については、2013年7月に入ったら速やかにプロジェクトが実施出来るように、前年の3-5月頃までには使用計画が提出できるようにすること、実施年度については補助金受領後12カ月以内、または補助金支出後2カ月以内に報告書の提出が義務付けられていることを話されました。グローバル補助金についても提案書の作成から申請書提出までに時間を要するので周到な準備が要求されることを話されました。

新地区補助金：クラブとしての取り組み

● 人道的分野：川田 隆財団人道的補助金委員長

- ① 補助金利用のプロセスを簡素化する目的を持った新制度による補助金は、新地区補助金とグローバル補助金の2種類のみで、申請はいずれもオンラインによること
 - ② 新地区補助金は6つの重点分野に関連させる必要はないので、幅広い範囲で利用可能
 - ③ 新地区補助金は1年に一度、一括でDDFの50%を上限として申請すること
 - ④ パイロット地区での新地区補助金の利用状況と申請書提出から承認までの期間(2週間)
 - ⑤ 現在の地区補助金と新地区補助金の手続き時間の比較(短縮される)
 - ⑥ 2011-12年度、2012-13年度、2013-14年度の詳細なタイムスケジュールを紹介
- 以上の内容についてご説明をされました。

● **教育的分野(奨学金): 牧尾晴喜財団奨学金・学友委員長**

- ① ロータリー財団国際親善奨学金、平和フェローシップについて旧制度と新制度を比較
- ② 例えば奨学金により2013年7月に国外へ留学生を派遣する場合、従来のように1年間のオリエンテーションの期間を設けるならば、タイムスケジュールはどのようになるのか、モデルケースを提示
- ③ 新地区補助金利用の奨学金の場合、カウンセラー制度をどうするのかという問題提起
- ④ グローバル補助金による奨学生派遣についての問題点(TRFへの申請書提出の時点で入学許可取得済という要件)などを解説されました。

● **職業研修(VTT): 田邊司郎GSE委員会委員**

GSEとVTTはどこがどう異なるのか、用語の解説をされた上でグローバル補助金によるVTTの場合、団員の人数や年齢制限、研修期間、交換の必要性、団員の職業分類などについて、GSEと比較しながら分かり易く解説をして頂きました。

宮里唯子財団FVP副委員長: グローバル補助金: クラブとしての取り組み

～6つの重点分野に照らし～

グローバル補助金について具体的で比較的详细なご説明を頂きました。①シェアシステムで3年前の年次寄付の50%がDDFに、残り50%がWFにシェアされ、WFはグローバル補助金に利用されること ②グローバル補助金にはクラブと地区が独自に立案するプロジェクトに対

する補助金と、パッケージ・グラントの二つがあること

- ③ プログラムには(1)人道的活動 (2)奨学金 (3)職業研修があるが、6つの重点分野のいずれかに属し、補助金が15,000ドル以上の規模であることなどの要件を満たすべきこと ④人道的プログラムの要件として、(1)成果が測定可能なこと (2)成果が持続可能なこと (3)受益社会と協力して立案と取り組みを行うこと、を挙げて説明されました。

さらに⑤教育的プログラム(奨学金)の要件 ⑥職業研修プログラムの要件について解説され、⑦グローバル補助金の申請手続きについて ⑧クラブの参加資格(資格認定プロセス)について ⑨業務サイクルに関しては、2012-13計画年度に(1)補助金管理セミナー (2)資格認定手続き (3)補助金申請開始を行い、2013-14実行年度にはプロジェクトを実施するというご説明をされました。

質疑応答

Q1. 高槻東RC上場氏: カンボジア(後進国)では、病気の発症率など統計が不十分で、「成果が測定可能」というグローバル補助金の条件をどう満たせばよいのでしょうか?

A. 宮里: 「測定」は必ずしも発症率に限るものではなく、例えば、プロジェクトを開始する前に、プロジェクトの受益者となるコミュニティーのワクチン接種率をお調べ頂ければ、プロジェクト終了後にはその接種率がどの程度上昇したかということでも「測定可能」と言う条件に見合うのではないかと思います。つまり、発症率だけが「測定可能」という条件を満たすわけではなく、工夫頂く余地があります。

Q2. 八尾RC今西氏: クラブが地区と交わす覚書は毎年必要ですか?

A. 福家: その通りです。毎年必要です。

福家 宏財団FVP委員長: 閉会挨拶

まずは多数のご出席に感謝致します。FVP実施までにパイロット地区は2010年7月から暫定的なFVPの規定に基づいて財団プログラムを実施していますが、実施中に生じてくる新補助金制度の問題点、改善すべき点などが、パイロット地区からロータリー財団にフィードバックされます。従って現在ロータリー財団が世界中の地区/クラブに示している新制度は、2013年7月までに修正が加えられる可能性が十分考えられることをお伝えしておきます。有難うございました。

東日本大震災復興支援 ボランティア活動報告

大阪難波RC社会奉仕委員会
委員長 神田真晃

「東日本大震災復興支援農地清掃と炊き出し、復興太鼓の演奏」の東日本大震災ボランティア活動は、平成23年7月17～18日の2日間、会員が18名（事務局員1名含）、関西大学学生が34名、一般17名の総勢71名で、ボランティアバス班、現地集合班に分かれて現地に入り、支援奉仕を行いました。

活動内容は17日は宮城県亘郡山元町ボランティアセンターの紹介で農道側溝清掃と仮設住宅支援活動を、18日は福島あづま運動公園避難所において屋外清掃・炊き出し・音楽演奏を致しました。

17日の側溝清掃活動には44名（会員3名、学生と一般38名、会員の医院の看護師3名）が従事し、山元町仮設住宅支援活動には9名（会員6名、一般3名）が、炬燵・掃除機・家財道具・米などの搬入仕分け配布に従事しました。

そして18日は総勢71名が、屋外の清掃班32名・炊き出し班23名・音楽レクリエーション班16名に別れ活動致しました。

音楽演奏では三味線奏者1名と我クラブの太鼓同好会会員7名が、被災者約100名の前で素晴らしい演奏を披露し、「幸せ太鼓」の響きが心を癒し、復興への気持ちを盛り上がらせることが出来ました。

また炊き出しでは西野会員従業員を中心にカレーうどん・皿うどん・ジャコご飯を総数500人前作り「今日のは美味しく食べられる、美味しい！」との評判を頂き、多くの方々に「大阪の人情の味」をお伝えし

ました。

清掃班では屋外清掃奉仕を致しました。

また学生が炊き出し・太鼓演奏・居住区清掃のチラシを前もって作成しボランティアセンターに郵送しており、事前に各家庭に配って頂いておりました。当日も心のこもった励ましのメッセージの寄せ書き（縦1m、横2m）を現地の避難所のおじいさんに贈呈しました。

これらの活動は各参加者の超私の奉仕の実践を通して、罹災者たちと手を取り合い、孤独死が起こっている避難者の現状から「がんばろう日本」の希望と復活の心を醸成することを願い実施致しました。

今回、我々は被災者との会話やふれあいを通して、復興太鼓と炊き出しで精神的支援を行うとともに、罹災者全体の心の痛みを和らげる癒しと明日への生きる支援活動が出来ました事を報告致します。



WCS事業が育てる青少年の活動

～アウンサンスーチーさんとテーウーさんにお会いして～

吹田RC国際奉仕委員会

委員長 豊谷 久仁子

吹田RCでは2000～7年の8年間、WCS（世界社会奉仕）事業として、ミャンマー・エアワディ地域のパテインで5年間、中部のマンダレーで3年間に周辺の小学校や村に約145基の手動式ポンプ井戸を、そして50周年を迎えた2009年にはパテインにタンク付の深井戸2基を提供してきました。これは「ミャンマーの小学生に安心して飲める水を」という趣旨のもとに、児童個人の衛生状態を改善し、水源起因の死亡率を減少させることが目的です。ミャンマーでは乾季には飲料水の確保が困難で、毎日遠くまで水を汲みに行くのは子どもたちや女性の仕事です。そのため、学校で教育を受ける時間的、経済的余裕がないのは今も変わりません。

クラブでは毎年現地を訪れてモニタリングを繰り返し、また、RACのメンバーも参加して子どもたちと交流を重ねながら事業を進めてきました。この体験によりRACは今では独自の支援プログラムを展開しています。

そんな中、私は村で出会った我が子を抱く幼い少女の様子にショックを受けました。もし、この少女が学校に行き、知識を得て、自分の人生を自分で考えることが出来たなら、違った道を歩んでいたかもしれないと思ったからです。「少女が歩む人生は自分自身で選ぶものであってほしい」のです。そして、是非、若い人たちに共に考える機会をと思い、日本の少女が同世代のミャンマーの少女たちと交流を通じて相互支援を目指す「ミャンマー・スタディツアー」をガールスカウト大阪府支部は2007年より10か年計画で実施しています。毎年10名の高校生、大学生年代の少女を派遣し、孤児院や障害児センター、自立を目指す女子訓練センターやHIV患者との話し合いなどで交流や相互理解と支援を図っています。この事業がガールガイド・ガールスカウト世界連盟より評価され、日本で初めての「オレブ賞」を受賞いたしました。

この少女たちの活動をミャンマーでも高く評価していただき、第5回目になるミャンマー・スタディ



ツアーでは、1月2日に民主化の指導者であるアウンサンスーチーさんと面談する機会を得ました。各国の首脳が先を競って面会される中、外国の民間の少女たちが会うことは異例



のことです。

アウンサンスーチーさんはスカウトたちの質問にも一つひとつ丁寧に、わかり易く理論的に答えて下さり、一番大切なことは「教育」で最低限の読み書きと知識をつけ、その知識を共有することで生活の質が向上すると話されました。スカウトやヤングリーダーたちは貴重な経験とスーチーさんのまっすぐな生き方に深い感銘を受けました。ビルマの時代にはガールガイドがあり、ガイドとして活動されていたアウンサンスーチーさんとスカウトの“サイン”をして絆を深めました。

私はその後、首都ネピドーで政府、与党の連邦團結発展党（USDP）のテーウー総書記に10年ぶりにお会いしました。吹田RCのパテインでの事業で当時軍司令官だったテーウーさんは当時、外国人が村の中で事業をすることに對して反対意見もあった中、「国民のために」と言って許可してくださったのです。そのお礼とそれに続く少女たちの事業についてお話をし、今後の協力をお願いしました。

政治的には両端にいらっしゃるお二人ですが、国民を思う気持ちに変わりはなく、努力されている姿に尊敬の念を抱いております。

最初からロータリーの事業と青少年活動のガールスカウトの事業がこのような展開になるとは思ってもみませんでした。大人がその後ろ姿を見せることで、青少年は後を追いかけて、やがて独り歩きするのです。立場や年代は違っても、同じ線上、目指す方向が同じであればお互い協力することで大きな輪が広がると信じています。



日 時：2011年12月17日

場 所：統一超商大樓 2樓

参加者：武島委員長、吉田副委員長、西谷副委員長、
西邨委員、近藤委員

(社) 中華民國ロータリー米山会は12月17日、1時30分より、蘇定東様、歐元韻様のユーモアあふれる流暢な日本語による司会進行により幕を明けました。

許国文理事長の挨拶の後、来賓紹介、講演、自己紹介、工作報告、財務報告、各区活動報告と続くのですが、各方面から集まってこられる人々、新竹、桃園、高雄（日本で言えば京都?）、台南（日本で言えば大阪?）から奨学生OB、日本からも長野、東京、埼玉からこられたカウンセラーの方々、「米山」と聞くといわゆる「心内あれば、色外に現る」のことわざそのままに米山OB達は自然に集まってきて行動する時もお互いに心が通じ合う……の感です。

続きまして、陳美雲様による講演「轉個彎、人生不一樣（ちょっとしたきっかけで人生は変わる。）」「人はそれぞれ、違った人生観を持っているものですが、唯一確かなのは生まれながらにして持っている「運命」というものがあるということです。しかしそれは変えられないものではなく、その人の生き方によって変えることも出来、また新たな運命を創り出すことも出来るのです。」

と言う内容で息子様……呉李剛様（26歳の時、アメリカのファーストレディ、オバマ・ミシェル夫人の大統領就任式典でのドレスをデザイン。このドレスは、現在アメリカ・スミソニアン博物館に展示されている）について話をされました。

9名の学友会新入会員の自己紹介に続き、特に私たちがすばらしいと思ったのは、台湾米山奨学生第2期生の笹川優子様感想発表、第3期生の工藤夕奈様、加藤友花様の自己紹介でした。2009年度より始まりました台湾米山奨学生、日台の「絆」「架け橋」が米山奨学会を通じさらに進化して行くのだなと思った



次第です。

式典も終わり、懇親会に移り、時空を超えた集いになるのですが、最後のお開きには、板橋敏雄（財）ロータリー米山記念奨学会理事長の「万歳三唱」で終わります。台湾に来て、台湾の会場で、ほとんどが台湾米山OBがそろって日本語で『万歳』『万歳』『万歳』……。

今現在、米山奨学学友会は、日本はさることながら台湾、韓国、中国の3カ国でしかありません。もっと、もっと他国の架け橋を増やしていきたいものです。

最後になりますが、(社) 中華民國扶輪米山会とは、日本で最大の民間奨学団体「ロータリー米山記念奨学会」の奨学金を受けた台湾出身の元日本留学生によって1983年に結成されました。台湾と日本の人的交流のほか、台湾における社会・教育・文化への奉仕活動や社会参加を推進しています。2002年に台湾で社団法人の許可を得ました。

台湾出身の元米山奨学生 累計：3,111名

台湾米山奨学生登録数：米山会員数1,600名

大阪アーバンロータリークラブ 加盟認証状伝達式 開催

創立会長 西口宗宏 (大阪アーバンRC)

昨年暮れに認証を受けた、大阪アーバンロータリークラブの加盟認証状伝達式を、2月6日(月)ホテルグランヴィア大阪において、開催させて頂くことが出来ました。当日は、地区各クラブの会長、幹事・次年度会長の皆様および、RI理事 近藤雅臣様、岡部泰鑑ガバナーはじめ、パスト・ガバナーにも大勢ご臨席賜りました。また高島GE、福家GN、そして地区運営をリードして下さっている委員長の皆様にも、多数、お越し頂き、地区皆様の温かいお気持ちを感じながら、伝達式を執り行うことができました。また第2630地区の服部芳樹パスト・ガバナーにも、遠路はるばるお越し頂き、お祝いの言葉を頂戴いたしました。

寺内俊太郎会員の開会の辞より始まり、岡部泰鑑ガバナーの挨拶について、横山守雄パスト・ガバナーから、創立の経緯について説明があり、国内ロータリーの現況と合わせて、当クラブの存在意義について、お話ししました。その後、RI理事 近藤雅臣様より加盟認証状を手渡しして頂き、大阪アーバンロータリークラブは、第2660地区各クラブの皆様の仲間入りをさせて頂くこととなりました。

地区各クラブの大先輩の皆様に、創立までのご協力に対する感謝の気持ちと、これからの指導に関するお願いを西口会長および山田芙美江副会長より申し上げ、伝達式は滞りなく終わることが出来ました。

その後、祝宴に移り、米国でのGETSを終えて帰国された高島凱夫GEから祝辞を賜り、福家GNの乾杯で、和やかなひと時が始まりました。岡部泰鑑ガバナーには、創立に至るまでのこの1年間の緊張感から解放され、終始おだやかな表情でございました。当クラブ下出一会員のピアノ伴奏で岡部泰鑑ガバナー自ら「マイウェイ」を披露して頂き、疲れを吹き飛ばされた事と拝察いたします。さらに、大谷透PGにも参加者全員とともに熱唱して頂き、和やかなひと時に、華を添えて下さいました。伝達式をこのように盛大に行うことが出来たのは、偏に、地区会員皆様の温かいご協力があったからでございま

す。見守って下さった皆様のご厚情に心より感謝申し上げます。

大阪アーバンロータリークラブは、地区内で初めて朝例会を行うクラブとして発足しましたので、地区会員皆様には、かなり関心の高いことと拝察いたします。事務局を置かず、スポンサークラブを持ちません。相互連絡は、電子メールが基本です。まだ出来上がったばかりのヨチヨチ歩きのクラブでございます。会員一同、気持ちを引き締めて、今後の活動を行ってまいりたいと思います。伝達式にお集まり頂いた皆様の関心そのものが、今後のロータリー活動の在り方についての一つの指針となり、当クラブのこれからの活動の原動力ともなります。

クラブ運営が安定するまでは、何度も試行錯誤を繰り返し、皆様にご迷惑をおかけすることと存じますが、地区会員の皆様には、どうぞ長い目で温かく見守って頂き、ご指導ご鞭撻賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



災害支援プロジェクト報告(第9回)

災害支援プロジェクト

委員長 **井上 暁夫** (千里RC)

2月13日までの寄付金受入状況、地区基金申請案件承認・支出済状況、現在の地区寄付金残高を報告いたします。地区内クラブと被災地クラブとの「絆」も深まり、地区基金申請案件は順調に推移しております。2月のクラブ社会奉仕委員長会議では、実際に申請を出されたクラブから当地区の災害支援プロジェクト委員会の活動は決断が早く、申請書類も分かりやすいとお褒めのお言葉を頂戴いたしました。あと3ヶ月余り、地区内各会員皆様方のご支援と活動にご協力の程お願い申し上げます。

(1) 各クラブよりの寄付金受入状況と各クラブ地区基金申請案件承認状況

(イ) 寄付金受入状況 (2012年2月13日現在)

	地区クラブ名および友好クラブ名(国名)	寄付金額(円)	備考
1	ペニンシュラRC (中国(香港)) ※松本年度の繰越し	197,600	大阪城北RC
2	マニラRC (フィリピン) ※松本年度の繰越し	12,060	大阪東RC
3	大東中央RC ※松本年度の繰越し	454,200	
4	摂津RC ※松本年度の繰越し	184,657	
5	Taipei Shihlin RC (台湾)	1,184,500	豊中南RC
6	豊中南RC	5,555,556	
7	IM第6組	500,000	
8	大阪城南RC	1,000,000	
9	豊原北區扶輪社 (台湾)	1,000,000	大阪城南RC
10	大阪そねぎRC	570,000	
11	TAICHUNG RC (台湾)	3,050,000	東大阪RC
12	守口RC	278,594	
13	八尾東RC	145,000	
	利息	111	
14	大阪ユニバーサルシティRC	200,000	
15	大阪城南RC	111,793	
16	交野RC	330,000	
17	大阪城南RC	12,074	
18	2360地区 (スウェーデン)	61,254	青少年交換関連
19	大阪城南RC	3,296	
20	くずはRC	560,000	
21	大阪梅田RC	340,000	
22	ローターアクトクラブ	116,751	
23	茨木東RC	100,000	
24	豊中RC	219,900	
25	地区大会募金箱への寄付	69,472	
26	地区大会「仏像ひとノミひと削り」お賽銭寄付	189,394	
27	大阪城南RC	20,000	
28	大阪咲洲RC	24,064	
29	大阪帝塚山RC	600,000	
30	大阪城南RC	5,534	
31	大阪西南RC	160,000	
32	大阪城南RC	8,310	
	合 計	17,264,120	

(ロ) 地区基金申請案件承認状況 (2012年2月13日現在)

	クラブ名	プロジェクト内容	総額(円)	うち地区拠出基金(円)
1	くずはRC	自転車・懐中電灯寄贈	779,500	579,500
2	大阪西RC	修学旅行交通費支援	1,082,610	700,000
3	大阪東南RC	ボランティア活動	981,400	700,000
4	東大阪東RC	殺虫剤寄贈	972,216	486,108
5	大阪城南RC	家具備品寄贈	1,567,650	700,000
6	門真RC	教育用備品什器寄贈	239,120	39,120
7	大阪中之島RC	学校用家具備品寄贈	424,725	224,725
8	委員会主導1	学校用家具備品寄贈	976,340	976,340
9	大阪天王寺RC	学童保育施設のエアコン設置	2,057,899	700,000
10	委員会主導2	教育資材寄贈	665,228	665,228
11	大阪御堂筋RC	ロータークラブ奉仕活動の交通費補助	457,500	230,700
12	大阪帝塚山RC	消防団へ軽消防自動車寄贈	5,058,600	700,000
13	東大阪西RC	小中学校に石油ストーブ寄贈	2,271,560	851,560
14	大阪RC	小学校にガイガーカウンター寄贈	498,750	298,750
15	吹田RC	幼稚園にランドセル寄贈	2,886,000	1,406,000
16	委員会主導3	鮭増殖プロジェクト支援	6,671,967	900,000
17	高槻RC	仮設住宅に浄水器寄贈	2,940,000	358,000
18	守ロイブニングRC	病院・幼稚園に浄水器寄贈	2,250,000	2,000,000
19	東大阪RC	支援物資寄贈	616,550	416,550
20	大阪城南RC	学校用家具備品寄贈	526,323	260,000
21	大阪南RC	コミュニティセンター設置	10,606,000	2,000,000
22	八尾RC	災害救護車両寄贈	3,776,335	1,303,605
23	豊中千里RC	巡回車両寄贈	1,452,874	1,000,000
24	大阪東南RC	中古小型漁船寄贈	2,500,000	2,000,000
25	交野RC	餅つきセット寄贈	894,390	250,000
26	大阪フレンドRC	心のケアプロジェクト	2,450,000	500,000
27	大阪帝塚山RC	軽消防自動車寄贈	5,175,450	606,548
28	高槻東RC	須賀川地区へ浄水器寄贈	2,250,000	2,000,000
29	大阪鶴見RC	大船渡プレハブ横丁への支援	7,340,000	450,000
30	大阪そねざきRC	医療用具寄贈	1,966,600	966,600
		合計	72,335,587	24,269,334

(2) 現在の地区寄付金残高 (2月13日現在)

① 直前ガバナー会から地区への返金	72,845,511円
② 地区内36クラブへ返金 (1月23日池田RCに400,000円返金)	37,224,413円
③ 地区内46クラブから預けられた額 (①-②)	35,621,098円
④ 地区内クラブからの寄付金 32件	17,264,120円
⑤ 地区内災害支援プロジェクト支援の拠出金 30件	24,269,334円
⑥ 2520地区 支援金	10,000,000円
⑦ 2530地区 支援金	5,000,000円
⑧ 送金手数料	30,000円
⑨ 地区大会募金箱 (北上西RCへ送金)	69,472円
⑩ 地区大会「仏像ひとノミひと削り」お賽銭 (RI第2520地区へ送金)	189,394円
地区寄付金残高 (③+④) - (⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩)	13,327,018円

米山奨学委員会

地区米山奨学委員会より

2011年12月末 全国寄付金合計額	792,536,207円 (前年度比2.60%減)
" 第2660地区寄付金合計額	51,102,186円 (前年度比5.26%増)
2011年12月末 全国寄付合計トップ10	
1. 第2650地区	56,484,248円
2. 第2660地区	51,102,186円
3. 第2590地区	46,878,000円
4. 第2750地区	44,301,800円
5. 第2760地区	40,579,501円
6. 第2770地区	38,653,000円
7. 第2580地区	36,432,745円
8. 第2820地区	30,042,020円
9. 第2680地区	27,474,280円
10. 第2780地区	27,452,250円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2011年12月)

氏名	回数	クラブ名
東坂 巖	1回目	大東中央RC
若狭 一夫	3回目	大東中央RC
村尾 忠信	1回目	東大阪RC
関 文男	5回目	東大阪RC
後藤 正憲	1回目	東大阪みどりRC
野村 悦子	2回目	東大阪みどりRC
土井 健一	2回目	東大阪みどりRC
明石 巧	3回目	池田RC
井上 裕子	1回目	池田RC
北林 安興	1回目	池田RC
森 繁子	15回目	池田RC
山口 正之	1回目	池田RC
木下 久則	5回目	交野RC
黄堂 泰昌	1回目	箕面RC
山下 恵司	5回目	箕面RC
串田 ゆか	1回目	寝屋川RC
下 俊一郎	1回目	寝屋川RC
出橋 恒仁	1回目	寝屋川RC
辻本 憲三	10回目	大阪RC
山田 一郎	3回目	大阪RC
大津 久直	6回目	大阪東淀ちゃやまちRC

氏名	回数	クラブ名
戸田 和孝	1回目	大阪東淀ちゃやまちRC
松村 榮一	5回目	大阪本町RC
村田 喜徳	1回目	大阪本町RC
笹井 敏之	3回目	大阪本町RC
三木 優	5回目	大阪イブニングRC
遠田 義昭	14回目	大阪城南RC
相崎 秀樹	4回目	大阪西RC
林 邦彦	1回目	大阪西RC
桑森 章	1回目	大阪西RC
中村 一志	1回目	大阪西RC
中村 壽孝	1回目	大阪西RC
西村 真一郎	3回目	大阪西RC
野村 卓也	1回目	大阪西RC
清水 美溥	7回目	大阪西RC
種村 泰一	1回目	大阪西RC
大川 展功	3回目	大阪西南RC
柴 雄一	2回目	大阪城北RC
前田 義雄	5回目	大阪東南RC
前田 敏弘	4回目	大阪東南RC
発 剛士	24回目	大阪鶴見RC
覚野 廣久	2回目	大阪鶴見RC

氏名	回数	クラブ名
後藤 洋治	23回目	梅田東RC
山村 幸久	2回目	梅田東RC
橋本 逸郎	10回目	大阪うつぼRC
岩根 和加子	2回目	大阪うつぼRC
中山 重積	5回目	大阪うつぼRC
堤 昌彦	3回目	大阪うつぼRC
河田 英子	3回目	大阪ユニバーサルシティRC
藤田 芳浩	4回目	千里メイプルRC
小山 富夫	1回目	千里メイプルRC
松田 親男	1回目	千里メイプルRC
樋上 幸夫	4回目	摂津RC
和泉 慎次	6回目	摂津RC
益田 光三	1回目	摂津RC
三木 秀雄	3回目	摂津RC
森川 嘉夫瑠	1回目	摂津RC
中川 廣司	7回目	摂津RC
埜口 定男	4回目	摂津RC
尾崎 公宏	1回目	摂津RC
山内 久生	8回目	摂津RC
瀧井 理	5回目	高槻東RC
高木 莊輔	3回目	高槻東RC
高谷 敏雄	3回目	高槻東RC
高岸 久典	1回目	高槻東RC
渡辺 一光	2回目	高槻東RC
藤本 訓子	2回目	豊中南RC
秦 博文	2回目	豊中南RC
廣瀬 譲	1回目	豊中南RC
栗本 武	6回目	豊中南RC
西口 定雄	2回目	豊中南RC
大木原 久	1回目	豊中南RC
今川 憲治	5回目	八尾RC
井川 孝三	3回目	八尾RC
小川 寛	6回目	八尾RC
佐野 清	9回目	八尾RC
谷口 俊文	1回目	八尾RC
山本 義治	13回目	八尾RC
山本 勝彦	3回目	八尾RC
山陰 恭志	1回目	八尾RC

氏名	回数	クラブ名
松尾 美由起	1回目	八尾中央RC
玉井 利宏	7回目	八尾中央RC
富山 博光	1回目	八尾中央RC
山田 正雄	7回目	八尾中央RC
山本 与志弥	1回目	八尾中央RC
長尾 穰治	1回目	八尾東RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。
(2011年12月)

クラブ名	回数
大東中央RC	8回目
東大阪みどりRC	7回目
池田RC	32回目
交野RC	14回目
大阪RC	100回目
大阪西RC	54回目
大阪ユニバーサルシティRC	1回目
千里メイプルRC	9回目
摂津RC	21回目
豊中南RC	36回目
八尾RC	53回目

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2011)

山野 寿	茨木東 RC	12月
岡本 直文	池田くれは RC	12月
今村 聖三	大阪フレンド RC	12月
福本 保治	大阪城南 RC	12月
小山 大輔	大阪北 RC	12月
表 久守	大阪北 RC	12月
粟井 齊	大阪北 RC	12月
筧 喜八郎	大阪北 RC	12月
小原 法隆	大阪北 RC	12月
瀬尾 忠志	大阪北 RC	12月
豊田 崇克	大阪北 RC	12月
廣瀬 哲三	大阪北 RC	12月
松浦 永郁	東大阪中央 RC	12月
小川 高弘	東大阪中央 RC	12月
小林 和由	大阪咲洲 RC	12月
川口 栄計	大阪難波 RC	12月
小林 宗廣	大阪難波 RC	12月
西本 健二	吹田江坂 RC	12月
大森 洋子	吹田江坂 RC	12月
市田 忠夫	高槻東 RC	12月
坂井 利孝	高槻東 RC	12月
寺本 佳弘	高槻東 RC	12月
亘 信二	大阪 RC	12月
渡辺 泰男	大阪 RC	12月
小山 富夫	千里メイプル RC	12月
石川 義一	八尾東 RC	12月
中澤 剛	八尾東 RC	12月
高橋 広一	八尾東 RC	12月
千早 正	大東中央 RC	12月
池田 文治	大東中央 RC	12月
北山 治信	東大阪みどり RC	12月
益田 光三	摂津 RC	12月
森川 薫	摂津 RC	12月
尾崎 公宏	摂津 RC	12月
大木原 久	豊中南 RC	12月
廣瀬 譲	豊中南 RC	12月
奥谷 英一	八尾 RC	12月

山陰 恭志	八尾 RC	12月
松井 良介	八尾 RC	12月
野田 重夫	八尾 RC	12月
柏木 武生宜	八尾 RC	12月
谷口 俊文	八尾 RC	12月

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2011)

高岡 賢弘	1回目	茨木東 RC	12月
山内 邦夫	1回目	池田くれは RC	12月
長嶋 貞孝	1回目	池田くれは RC	12月
足立 恒雄	2回目	くずは RC	12月
初木 賢司	1回目	くずは RC	12月
平尾 公介	1回目	くずは RC	12月
原田 武夫	2回目	くずは RC	12月
佐藤 直博	1回目	大阪フレンド RC	12月
山本 富造	1回目	大阪フレンド RC	12月
山田 和義	4回目	大阪うつぼ RC	12月
奥澤 邦彦	3回目	大阪うつぼ RC	12月
村上 正人	3回目	大阪うつぼ RC	12月
大川 治	1回目	大阪うつぼ RC	12月
斉藤 隆二	2回目	大阪うつぼ RC	12月
東村 高良	1回目	大阪うつぼ RC	12月
竹内 寛	1回目	大阪柏原 RC	12月
岡村 政嗣	6回目	大阪柏原 RC	12月
植田 泰正	2回目	大阪柏原 RC	12月
田中 義男	4回目	大阪柏原 RC	12月
林 芳繁	4回目	大阪柏原 RC	12月
清水 英明	2回目	大阪北 RC	12月
大西 宏史	2回目	大阪北 RC	12月
吉矢 生人	2回目	大阪北 RC	12月
河田 一彦	2回目	大阪北 RC	12月
上島 一泰	1回目	大阪北 RC	12月
魚本 慶一郎	1回目	大阪北 RC	12月
古野 清賢	3回目	大阪北 RC	12月
田中 真人	1回目	大阪北 RC	12月
緒方 満	2回目	大阪北 RC	12月
廣田 元孝	2回目	大阪北 RC	12月

井上 亮一	3回目	大阪北 RC	12月
杉原 俊一	1回目	大阪北 RC	12月
大堅 敢	1回目	大阪北 RC	12月
片瀬 貴文	1回目	大阪北 RC	12月
岡田 徹	1回目	大阪北 RC	12月
古武 敏彦	1回目	大阪北 RC	12月
石田 豊司	3回目	大阪北 RC	12月
平川 恵一	5回目	大阪北 RC	12月
早嶋 茂	2回目	大阪 RC	12月
荒石 義一郎	3回目	大阪咲洲 RC	12月
中西 藤和	2回目	大阪梅田 RC	12月
竹田 伸	1回目	大阪難波 RC	12月
大地 庸元	3回目	大阪難波 RC	12月
田中 茂人	1回目	大阪北 RC	12月
大川 展功	1回目	大阪西南 RC	12月
今村 啓志	2回目	吹田江坂 RC	12月
長島 寛	2回目	吹田江坂 RC	12月
庄瀬 寛	1回目	吹田江坂 RC	12月
大井 清	2回目	吹田江坂 RC	12月
堀田 稔	2回目	吹田江坂 RC	12月
速見 憲	2回目	吹田江坂 RC	12月
田中 茂晴	2回目	吹田江坂 RC	12月
西山 俊明	2回目	吹田江坂 RC	12月
西村 義博	2回目	吹田江坂 RC	12月
植木 實	1回目	高槻東 RC	12月
川村 俊	3回目	高槻東 RC	12月
渡辺 一光	1回目	高槻東 RC	12月
石井 清隆	2回目	高槻東 RC	12月
高谷 敏雄	2回目	高槻東 RC	12月
福家 宏	6回目	八尾中央 RC	12月
山田 正雄	4回目	八尾中央 RC	12月
絹川 治	1回目	大阪 RC	12月
稲畑 勝太郎	2回目	大阪 RC	12月
石原 福造	1回目	大阪 RC	12月
塩野 秀作	2回目	大阪 RC	12月
河田 英子	1回目	大阪ユニバーサルシティ RC	12月
相原 正雄	6回目	千里メイプル RC	12月
岸上 億則	6回目	千里メイプル RC	12月
近藤 一弥	1回目	千里メイプル RC	12月
黒川 彰夫	4回目	千里メイプル RC	12月

松田 親男	3回目	千里メイプル RC	12月
村田 純子	3回目	千里メイプル RC	12月
中長 伸一	3回目	千里メイプル RC	12月
山田 克子	2回目	千里メイプル RC	12月
長尾 穰治	1回目	八尾東 RC	12月
井上 善博	1回目	東大阪みどり RC	12月
松浦 利英	1回目	東大阪みどり RC	12月
寺西 邦男	2回目	大阪本町 RC	12月
小湊 収	5回目	大阪梅田東 RC	12月
樋上 幸夫	2回目	摂津 RC	12月
和泉 慎次	2回目	摂津 RC	12月
門田 孝三郎	2回目	摂津 RC	12月
中川 廣司	5回目	摂津 RC	12月
西島 英信	2回目	摂津 RC	12月
柴田 仁	3回目	吹田 RC	12月
高津 昇	1回目	吹田 RC	12月
田辺 嘉穂	2回目	吹田 RC	12月
吉岡 諄二	2回目	吹田 RC	12月
石田 弑二	1回目	吹田 RC	12月
田坂 新一	1回目	大阪鶴見 RC	12月
菊井 康夫	2回目	大阪鶴見 RC	12月
越野 憲昭	2回目	高槻 RC	12月
秦 博文	1回目	豊中南 RC	12月
吉田 弘孝	3回目	豊中南 RC	12月
藤本 訓子	1回目	豊中南 RC	12月
上田 卓也	4回目	豊中南 RC	12月
坂本 憲治	4回目	八尾 RC	12月
横井 憲二	2回目	八尾 RC	12月
山本 昌市	2回目	八尾 RC	12月
中川 将	4回目	八尾 RC	12月
寺坂 哲之	4回目	八尾 RC	12月
橋本 雄司	5回目	八尾 RC	12月

ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。
(2011)

松永 賢一	大阪柏原 RC	12月
稲本 一夫	大阪梅田 RC	12月
田中 春次	高槻東 RC	12月
大橋 弘一	吹田 RC	12月
津本 清次	大阪一淀川 RC	12月

2012年1月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	1 月末会 員数		入会者 数	退会者 数	増減	例会 数	出席率	ホームクラ ブ出席率	I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	1 月末会 員数		入会者 数	退会者 数	増減	例会 数	出席率	ホームクラ ブ出席率	
			全員	女性										累計	累計							全員
I M 第1組	池田	38	38	3	1	1	0	3	71.29	68.52	I M 第5組	大阪中央	50	51	5	5	4	1	4	92.65	71.52	
	池田くれは	29	29	1	0	0	0	4	78.50	76.42		大阪堂島	30	33	1	4	1	3	3	84.37	82.29	
	箕面	27	25	1	0	2	-2	4	84.85	81.95		大阪北	189	194	0	9	4	5	3	81.07	71.31	
	箕面中央	23	24	0	2	1	1	3	90.20	88.60		大阪北梅田	49	51	3	3	1	2	3	75.16	67.32	
	豊中	44	44	3	2	2	0	4	84.98	75.21		大阪西	71	70	0	2	3	-1	3	88.25	77.42	
	豊中南	31	31	2	2	2	0	3	80.22	76.95		大阪大淀	53	55	0	4	2	2	3	81.41	78.21	
	豊中-大阪国際空港	20	19	0	0	1	-1	3	65.50	65.50		大阪リバーサイド	35	35	5	1	1	0	4	88.91	75.00	
	豊中千里	35	37	3	2	0	2	3	90.71	83.94		大阪西北	54	56	0	4	2	2	4	92.26	83.47	
	小計	247	247	13	9	9	0		80.78	77.14		大阪そねざき	34	38	24	6	2	4	3	95.61	88.47	
													大阪梅田	36	30	0	0	6	-6	4	81.41	74.32
I M 第2組	茨木	26	26	5	1	1	0	3	94.45	86.11	大阪梅田東	32	32	0	1	1	0	4	80.37	67.96		
	茨木東	41	41	4	0	0	0	4	85.42	74.82	大阪ユニバーサルシティ	28	28	3	0	0	0	3	82.05	73.08		
	茨木西	29	28	6	0	1	-1	3	91.67	73.81	小計	661	673	41	39	27	12		85.29	75.86		
	千里	38	36	0	2	4	-2	5	91.67	81.56	大阪	258	270	0	18	6	12	4	71.61	55.15		
	千里メイプル	26	22	2	0	4	-4	4	88.64	77.27	大阪東	117	119	0	5	3	2	3	91.69	75.64		
	摂津	38	40	0	2	0	2	4	94.16	84.22	大阪東淀ちゃやまち	31	30	3	1	2	-1	4	86.63	75.94		
	吹田	61	61	6	1	1	0	4	96.31	87.64	大阪城東	47	45	5	1	3	-2	3	87.10	77.17		
	吹田江坂	39	39	3	1	1	0	4	98.57	92.40	大阪中之島	27	28	2	2	1	1	3	94.04	86.90		
	吹田西	48	49	2	1	0	1	3	100.00	94.63	大阪大手前	38	38	3	1	1	0	4	84.03	81.38		
	高槻	45	46	5	3	2	1	3	91.60	84.34	大阪城北	55	53	2	0	2	-2	3	77.16	77.16		
I M 第3組	高槻東	39	38	0	0	1	-1	4	94.06	94.06	大阪天満橋	67	66	0	1	2	-1	4	86.75	83.89		
	高槻西	23	23	0	1	1	0	3	97.10	76.82	大阪鶴見	32	35	0	3	0	3	4	80.52	68.84		
	小計	453	449	33	12	16	-4		93.64	83.97	大阪-淀川	34	33	2	1	2	-1	3	91.85	71.10		
	大東	43	45	0	4	2	2	4	100.00	94.83	新大阪	35	37	0	2	0	2	3	82.88	77.48		
	大東中央	28	27	10	0	1	-1	3	85.72	71.62	小計	741	754	17	35	22	13		84.93	75.51		
	枚方	41	40	0	1	2	-1	4	93.77	82.04	大阪フレンド	12	20	3	8	0	8	3	91.40	77.72		
	門真	30	33	4	3	0	3	4	93.18	85.61	大阪本町	26	26	2	1	1	0	4	84.96	81.70		
	交野	34	34	1	1	1	0	3	79.82	66.31	大阪御堂筋	34	35	0	2	1	1	3	89.45	78.97		
	香里園	17	15	0	0	2	-2	3	95.55	88.89	大阪南	132	141	0	12	3	9	4	84.71	73.25		
	くずは	56	56	0	2	2	0	3	80.22	74.86	大阪難波	44	42	0	1	3	-2	4	94.16	73.81		
I M 第4組	守口	44	43	3	1	2	-1	3	79.79	67.96	大阪なにわ	28	26	2	1	3	-2	4	80.16	74.50		
	守口イブニング	26	26	4	1	1	0	4	80.77	68.27	大阪南西	16	17	3	1	0	1	3	93.17	90.95		
	寝屋川	39	38	5	0	1	-1	4	91.89	81.55	大阪西南	86	93	16	10	3	7	3	98.11	77.78		
	四條畷	12	13	0	1	0	1	4	95.83	90.06	大阪船場	41	41	0	0	0	0	3	96.00	92.00		
	小計	370	370	27	14	14	0		88.78	79.27	大阪心齋橋	38	38	0	1	1	0	3	95.37	84.52		
	東大阪	66	66	0	1	1	0	3	88.42	79.03	大阪うつぼ	33	34	4	2	1	1	4	96.57	86.14		
	東大阪中央	36	36	0	0	0	0	3	98.96	92.54	小計	490	513	30	39	16	23		91.28	81.03		
	東大阪東	64	60	4	4	8	-4	4	81.74	65.97	大阪平野	37	35	3	0	2	-2	3	91.17	81.37		
	東大阪みどり	27	26	1	2	3	-1	3	98.67	68.00	大阪イブニング	16	16	3	1	1	0	4	90.63	76.56		
	東大阪西	35	34	0	0	1	-1	3	95.36	69.95	大阪城南	55	53	0	0	2	-2	4	99.51	89.88		
I M 第8組	大阪柏原	30	29	2	0	1	-1	4	92.58	87.88	大阪咲洲	19	19	1	0	0	0	3	85.96	68.42		
	大阪ネクスト	17	17	6	0	0	0	3	57.00	39.00	大阪天王寺	60	59	0	0	1	-1	4	92.37	81.65		
	八尾	73	71	0	3	5	-2	3	96.68	65.75	大阪帝塚山	58	58	4	3	3	0	3	81.84	73.08		
	八尾中央	19	19	1	2	2	0	4	92.53	86.25	大阪東南	50	51	0	1	0	1	4	94.00	76.10		
	八尾東	23	24	2	3	2	1	4	84.09	81.49	大阪アーバン	0	27	8	27	0	27	3	73.10	73.10		
	小計	390	382	16	15	23	-8		88.60	73.59	小計	295	318	19	32	9	23		88.57	77.52		
												合計	クラブ数	7月期初 会員数	月末 会員	女性 会員	入会 者数 累計	退会 者数 累計	増減		平均 出席率	平均 出席率
													83	3647	3706	196	195	136	59		87.7	78.0

文庫通信 (293号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

新着の文献から

- ◎「例会出席して、何を学ぶの？」 亀井義弘 2011 4p (我が心の原点、ロータリー)
- ◎「ロータリークラブの弱体化と対応策」 関口宗男 他編 2011 2p
(ロータリーの軌跡と展望及びロータリーの基本についての解説)
- ◎「SAAについて その1～4」 深川純一 2011 4p (純ちゃんのコーナー PartX)
- ◎「シェルドン登場」 田中毅 2011 4p (シェルドンの森 ロータリーの真実を求めて)
- ◎「ロータリーの危機」 田中毅 2011 13p (D.2790地区大会記念誌)
- ◎「ロータリー活動と意識についてーロータリー歴の長い会員と短い会員」 丹羽司一 2011 13p
(ロータリーに関する意識と活動についてーロータリーに未来を考える)
- ◎「ロータリーの理想」 ビチャイ・ラタクル 2011 10p (D.2790地区大会記念誌)
- ◎「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」 武笠和夫 2011 2p (社会教育No.783)
[上記申込先：ロータリー文庫]
- ◎「職業奉仕の源 社是・社訓他」 宝塚中RC 2011 17p
[申込先：宝塚中RC FAX(0797)83-1110]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時～午後5時

休館 = 土・日・祝祭日

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

田中成和 会員

(大阪帝塚山RC)

2012年1月6日逝去(享年76歳)

会長、理事、職業奉仕委員長、国際奉仕委員長、クラブ広報委員長
職業奉仕委員長、会員増強委員長

米山功労者(マルチプル)

ポール・ハリス・フェロー

谷 勅行 会員

(池田くれはRC)

2012年2月6日逝去(享年66歳)

親睦活動委員会委員長、青少年奉仕委員会委員長

熊澤忠躬 会員

(守口RC)

2012年2月9日逝去(享年86歳)

ガバナー(1995~1996年度)

会長、ロータリー財団委員長、職業奉仕委員長、クラブ奉仕委員長、国際奉仕委員長
地区社会奉仕委員会顧問、地区米山奨学部門顧問、諮問委員会委員

2004年国際大会医療部会部会長

米山功労者(マルチプル)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

<お知らせ>

●大阪そねざきRC 事務局メールアドレス変更のお知らせ

メール：(現) k_kawanami803@west.jtb.jp (2012年1月31日限り)

メール：(新) kazuyuki_kawanami@jtb.co.jp (2012年2月1日以降)

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務局必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- | | |
|----------|-------|
| ・ガバナー | 岡部 泰鑑 |
| ・地区代表幹事 | 境 高彦 |
| ・地区副代表幹事 | 渡邊 邦雄 |
| ・担当地区幹事 | 畑田 豊 |
| ・担当地区幹事 | 尾崎 敬則 |
| ・事務局長 | 今井 貢二 |

2011～2012年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

●事務局スタッフ

ガバナー	岡部 泰鑑
地区代表幹事	境 高彦
地区副代表幹事	渡邊 邦雄
事務局長	今井 貢二
事務局員	栗正 久美
	春名 志保
	納多寿恵子

●休日

土曜、日曜、祝日
夏期
2012年8月11日(土)～16日(木)
年末年始
2012年12月29日(土)～
2013年1月6日(日)

●所在地・電話・ファックス

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL: 06-6264-2660
FAX: 06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設致しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

●ホームページアドレス

<http://www.ri2660.gr.jp/>

●メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

●勤務時間

9:30～17:00



※ 地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F Toyama Bldg. East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
Phone. +81-6-6264-2660 Fax. +81-6-6264-2661 E-mail: gov@ri2660.gr.jp